

備前市事務事業評価表

事務事業名	保健センター管理運営事業(庶務事業)		コード	02-02-06-06
			担当課・係	保健課健康係
			担当者	菊川智宏
事業実施期間	昭和63年～			
総合計画 事業(政策)体系	大項目(基本目標)	健康でやさしさあふれるまちづくり		
	中項目(基本施策)	健やかで生き生きしたまちづくり		
	小項目(施策)	健康づくり(健康づくりの基盤整備)		
			電話	64-1820(内線223)

事業について	
目的 (何のために)	市民の健康の保持・増進のための拠点の運営、保健事業の適切な実施
対象 (誰・何を対象に)	乳幼児健診、健康診査、健康教室、献血等各種保健事業の対象者及び受診者等
内容	保健センターの管理の一部を委託するとともに、施設の機能を保つよう管理運営を行なう。また、保健事業の適切な実施のための庶務を行なう。

事業の結果			
実施項目	17年度 回数など(単位)	18年度 回数など(単位)	回数など(単位)
保健事業等利用人数	7,463 人	8,115 人	

事業費 (単位:千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費 6,610	間接補助金等	直接事業費 3,554	間接補助金等	直接事業費	3,554	間接補助金等	
	人件費 16,490	委託費負担	人件費 760	委託費負担	人件費		委託費負担	
	合計	23,100	一般財源等	23,100	合計	4,314	一般財源等	4,314

必要人員	185 人	0.10 人	
結果指標名	保健事業等利用人数	保健事業等利用人数	
結果指標量	7,463	8,115	
単位	人	人	
対前年比	-	108.74%	0.00%
活動にかかるコスト	23,100,000 円	4,314,000 円	
単位当たりコスト	3,095 円	532 円	

事業の成果			
どのような成果を得ようとしているか	保健事業サービスの拠点としての有効利用		
成果指標名	保健事業等利用人数	式又は説明	
	17年度	18年度	
成果指標量	7,463	8,115	
対前年比	-	108.74%	0.00%
到達目標値		到達目標年度	

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成18年度事業)	
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である (関係法令等: )	妥当性評価<A~E> B 課題認識
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	昭和63年建築時から保健事業の拠点として多くの市民が利用し、市が施設を管理している。 市町村合併による利用者の増加に対応した、適正な運営が必要である。
	市民ニーズの妥当性	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である		
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	効率性評価<A~E> C 課題認識
	手段の最適化	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	経費削減に努めているが、老朽化による予測できない修繕等が発生する。 空調設備の適正な管理、まめな消灯及び水栓の調整などを徹底し、コスト削減に努めることにより、適正かつより効率的な施設管理を行っている。 施設利用者の増加に相反して、福祉事務所新築により駐車場の収容可能台数が減少したことから、事業実施時における駐車場の確保が困難になっている。
	職場の効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input checked="" type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい	
目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	有効性評価<A~E> B 課題認識	
有効性の評価	成果向上の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	市町村合併後、保健事業の拠点としての役割及び施設の有効性が増すとともに、より効率的な管理運営及び事業実施が必要となった。
	市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的な情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

平成19年度の状況		説明	
<input type="checkbox"/> 重点化している <input type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input type="checkbox"/> 見直し継続している <input checked="" type="checkbox"/> 事業を縮小している	<input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input checked="" type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了		
目標値	結果指標量	8,115	結果指標量

総合評価	保健事業のサービスを提供する拠点として管理運営しているが、平成19年度から予算措置を伴う維持管理については、財政課が本庁舎として一元管理を行っている。また、その他の予算についても、各種事業で配分するため、庶務事業(共通事務)のみが残ることから、平成19年度をもって廃止とする。	評価区分<A~E> C
------	--	-------------

平成20年度以降の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了 <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する
--------------	--	---

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果